

The Japanese
Society of
Practitioners for
Pediatric Dentistry

JSPP

【入会方法】 JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。

年会費 10,000円、入会金 10,000円

「全国小児歯科開業医学会 (JSPP) に入会して」



全国小児歯科開業医学会 理事
渡辺 直彦

医療法人高峯会 渡辺小児歯科、名古屋市開業

全国小児歯科開業医学会 (JSPP) コーナーの役員によるリレー連載も、会長から始まり、現在まで相当数の理事が執筆されていますので、JSPPについての情報はおおかた網羅されていることと思います。そのようななかで、自分がお伝えできることはなにか考えたところ、きわめて私的な内容になってしまうことをお許し下さい。

JSPPが平成元年に発足して、今年で23年目を迎えるとのこと。私は平成3年に愛知学院大学歯学部を卒業し、そのまま大学院生、その後教員として12年間小児歯科の医局に在籍したため、JSPPとはほとんど縁のない状態でした。存在は知っていたものの、医局のOBの先生が何名か所属している程度の知識しか持っていませんでした。

ただ強く印象に残っているのは、「JSPP会員名簿」です。付属病院小児歯科の初診チェアーのところに常備しており、緑色の分厚いリングファイルで1会員ずつ取り外しができるため、コピーをとるのに便利でした。当時は歯科医師としての経験年数も浅く、患者さんの転居先に、個人的に紹介できるような小児歯科医院があることはめったにありませんでした。また、大学病院の小児歯科も数と所在地が限られていました。とくに、あまり知り合いのいない愛知県外に患者さんが転居される場合、この名簿に載っている会員について周りの先輩方に聞いたうえで紹介状を書き、大変役に立った覚えがあります。

平成15年に小児歯科の医局を退局し、父の主宰する現在の医院に勤務するようになりました。翌年には、名古屋臨床小児歯科研究会 (名小研) に入会し、いろ

ろな運営にも携わるようになりました。月に一度行われる研究会の役員会でも、時折 JSPP 理事会報告などの情報がありましたが、あまり真剣に耳を傾けていませんでした。そのころは大学とは違う、開業医での日々の臨床に精一杯で (今でもそうですが)、自分自身の目が全国に向けていなかったのでしょうか。

平成20年に突然の転機が訪れました。2年後に執行部の担当が名古屋になるかもしれないから、JSPPに入会し、しかも理事になれというのです。医局時代からお世話になっている名小研の先輩方の指示には逆らえず、右も左もわからぬまま、会員であった父との交代という形で入会し、5月に埼玉で行われた全国集會に出席しました。当時の会長である池尾元三朗先生はじめ、会員の先生方にはあたたかく迎え入れていただきました。その夜の懇親会は、小児歯科学会とはまた違った雰囲気、会員でもある石井みどり参議院議員も参加され、会のスケールの大きさに感心しました。

その後は、執行部会や理事会にも出席するようになりました。JSPPに入会してまず感じたことは、会員の先生方が個性豊かで、かつバイタリティーに溢れているということです。それぞれが信念を持って、地域での小児歯科臨床に邁進しているという印象を受けました。

全国集會は年1回ですが、設立当初の目的である、全国規模での患者さんの紹介と会員相互の親睦のみならず、研究調査、研究助成などの学術、市民や地域への啓蒙・広報や全国各地の小児歯科研究会との連携など、その活動は多岐にわたっています。また、会員および一般患者向けのホームページの内容は充実しており、担当の徐先生により常に更新されています。冊子の会員名簿は簡略化されましたが、かわりにホームページ上の名簿は、患者さんが郵便番号や地図上から医院を検索できる機能まで持ち、たいへん便利になりました。

小児歯科臨床医による全国規模の団体で、精力的に活動していますので、小児歯科に高い志を持った先生のご入会を多数お待ちしております。